

宇都宮市民憲章

- 1 健康で、心のふれあう明るいまちをつくります。
- 2 きまりを守り、活気あふれる楽しいまちをつくります。
- 3 学ぶことを大切にし、文化の薫る美しいまちをつくります。



編集・発行 宇都宮市立図書館 明保野町7番57号 〒320 Ⅱ 36-0231

入賞者発表

読書推進のための標語

10月22日から一か月標語の募集を行いました。応募点数は、小学校の部で、2,333点、中学校の部で、1,355点、一般の部で、107点でした。応募者は2,361人でした。どうぞ読書の「合い言葉」として、親しみ、ご利用いただきたいと思ひます。なお、表彰は1月25日行いました。入賞作品及び氏名は、次のとおりです。

◇小学校低学年の部

最優秀 「ねるまえに きょうもよんでね おかあさん」 城東小1年 永岡由梨子。優秀 「よみたくないおもしろい本こわい本」 西が岡小1年、中曽根理絵。『よむたびふえる ぼくのこころのなかまたち』 西原小1年、矢野剛。『すてきな本 今夜もよんでね おかあさん』 陽南小2年、奥村和広。『本をよんで 心のともだちにふやそうね』 緑が丘小2年、鈴木玲子。『本読んで 心のふうせんふくらませよう』 東小2年、大木美里。入選 『おはなしいっぱい たまてばこ』 泉が丘小1年、大木直子。『たのしいほん きょうもわかった こんなこと』 横川中央小1年、夏葉光邦。『わたしもしたいな たのしいほんのゆめのたび』 西原小1年、滝沢史恵。『ほんはぼくのたからもの』 西原小1年、小牧信夫。『本

◇小学校中学年の部

最優秀 「大きい目 小さい目 みんなそろって読書の目」 豊郷中央小 笹沼武士。優秀 『読んだ本 かさねてわたしとせいくらべ』 横川中央小 野沢史以。『本をひらけ さあゆめの国へ出発だ』 西原小3年、橋本亮子。『ゆかいだな 読書はあたまのたいそうだ』

◇小学校高学年の部

最優秀 「ひろくよ むかしむかし そのむかし」 中央小5年、藤井美幸。優秀 『君とぼく 話題の中心読んだ本』 陽南小5年、野沢靖広。『本読んで すてきな未来の町づくり』 緑が丘小5年、坂本容子。『母さんが読んでた本を 今ぼくも』 明保小6年、赤松泰彦。『一ページ めくれば君が主人公』

明保小6年 大谷美穂子。『本だな ゆめと未来のたまたま箱』 西原小6年 田村友紀。入選 『楽しいな 読書はまほうの玉手箱』 陽南小5年 寺内恵子。『役立つよ 本は私の道しるべ』 国本中央小5年 三瓶美佳。『ひろげよう 良いい本読んで読書の輪』 緑が丘小5年 岩川真理。『広げよう みんなの読書とみんなの心』 泉が丘小5年 中村理絵。『ページをめくって 知らない世界に旅しよう』 緑が丘小5年 前田安代。『家じゅうで にこにこ読書楽しい食後』 富士見小5年 木村崇子。『本読んで 明るいぐらし 明るい心』 泉が丘小5年 村上明子。『スイッチを切つてのぼそ読書の時間』 中央小5年 風間健介。『本は不思議の国の入場券』 横川中央小5年 篠原良子。『良い本は未来に役立つ知識の宝庫』 泉が丘小5年 福富桂子。『本を読む 未来にむかう良い子ども』 泉が丘小5年 安藤美紀。『よい本で出合える言葉 よい人物』 国本中央小5年 阿部嘉嗣。『本の中すてきな世界を歩いてみよう』 西原小5年 合田祐子。『本読めば友から友へ広がる輪』 東小5年 永瀬佳織。『本読めば 広がる心と広がる世界』 東小5年 斎藤久之。『めで読んで 心で読んで楽しい読書』 豊郷南小5年 手塚智子。『やぶくた おるな 書きこむな 本がないてる 大切に』 豊郷南小5年 倉持真弓。入選 宏美、毛塚亜紀子。『読書して 広げよ

う私たちの世界」陽東小6年 池田直穂子、「本読んで、いろんな生き方、いろんな出会い」明保小6年 保坂智、「本からつながる心と心」築瀬小6年 鈴木麻里、「よい本は、心のふるさと作ります」中央小6年 青木美詠子、「本よんで、未来につづく道をひらこうよ」陽東小6年 津久井邦彦、「世界中、本に乗って歩きます」国本西小6年 半田直子、「本は心と頭のエネルギー」中央小6年 落合祐香、「本読んで、わが家は心も健康だ」築瀬小6年 山崎聡志、「読書は、未知の世界へのガイドブック」作新小6年 佐藤桃子、「本の中、過去と未来をタイムスリップ」西原小6年 渡辺こず恵、「主人公と、ふれあい楽しむ秋の夜」作新小6年 塚田敦、「私のよんだあの本を、あなたにつたえてあげたいな」西原小6年 小松摩紀、「よい本は、読めば読むほど心がなごむ」西原小6年 柏木雅弘、「豊かな心、広まる知識は読書から」西原小6年 小林香折、「本読めば心ふくらむ夢もふくらむ」西原小6年 池上容子、「豊かな心、ほんの少しの読書から」西原小6年 相馬美保、「ゆめのある世界がえがける、たのしい読書」豊郷南小6年 岩淵容子

◇中学生の部

最優秀「読書から世界を学び、僕を知る」国本中1年 三瓶佳音、優秀「深めよう、心と本の通い道」

星が丘中1年 金田幸恵、「跳べ心、本の翼を身につけて」一条中1年 野沢将仁、「話してみよう本と私の小さな会話」横川中2年 植木三重子、「本読めば、あなたの知識にプラスワン」雀宮中2年 矢島大輔、「本を読み、未来にはばたけ、若者よ」陽北中2年 北沢浩子、「すすめられ、すすめて楽しい読書の輪」泉が丘中3年 小林祐美、「一冊が新たな道への第一歩」姿川中3年 君島浩樹、「本を読む、君がほんとの主人公」鬼怒中3年 田崎浩三。入選「本は、新たな時代をきずく基礎」一条中1年 小栗和久、「限らない豊かな心は読書から」泉が丘中1年 大西良子、「本を読んで、自分の夢を探そうよ」一条中1年 竹澤里恵、「人と本、心と言葉の結びつき」一条中1年 阿部浩子、「知ろう、学ぼう、感動しよう、本は心の栄養です」旭中1年 田宮綾子、「一冊の本がみちびく新世界」星が丘中1年 金谷利英、「作ろうよ、一日一度は読書の時間」星が丘中1年 茂木崇広、「読書で開ける明るい未来」一条中1年 小森聡、「読書する心と頭は知識の海に」宮の原中1年 赤羽寿美、「楽しいな、ページめくれば夢一つ」清原中1年 飯山由起、「よい本はいつもあなたのパートナー」一条中1年 小林将之、「読書から、いろんな自分を見つけ出す」泉が丘中1年 阿部祐子、「よい本は、自分を深める道しるべ」国本中1年 田村晶、「本の中、広

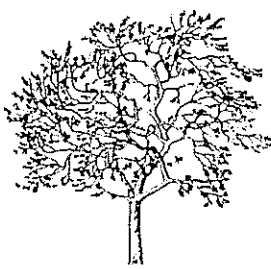
がる世界、限らない」旭中1年 石川友美、「本は心の夢飛行」一条中1年 長島布久代、「味わえる、一冊だけいろいろな世界」清原中1年 神原理恵、「本は心と心の共通語」一条中1年 小林和枝、「本を読めば、未来へふみだす第一歩」鬼怒中1年 五味宗高、「本は、心の安らぎ、明日への希望」鬼怒中1年 小松本慎子、「今だから心に残る一冊を」横川中1年 大塚里恵、「忘れてない？あなただけのよい本を」国本中1年 山崎綾子、「感動の心と夢を広げる物語」旭中1年 阿部ゆりか、「本を読んで時間の中を旅してみよう」一条中1年 手塚智子、「本を読み、正しい未来をみつけよう」泉が丘中1年 千葉邦子、「一冊の本から見つける自分の進路」泉が丘中1年 中野朋恵、「さあ、本を読もう、みんなの道がみえてくる」旭中1年 唐木澤孝枝、「広げよう、読書習慣どこにでも」泉が丘中1年 佐々木志乃、「本を開けそこに広がる夢の街」雀宮中2年 野口宏之、「毎日が読書の日です僕の家」雀宮中2年 安岡雄二、「本をよみ、人の生きざままた知って」横川中2年 山口陽子、「もしかしたら、本の中に私の未来」鬼怒中2年 大島亜紀子、「一冊の本が、おっきな勇気をプレゼント」国本中2年 鈴木章代、「別世界、ページを開けばもうそこに」鬼怒中2年 平出明美、「ページめくるたび、大きく広がるあなたの心」雀宮中2年 道木美香

「夢に向けて、ページの上を目が走る」鬼怒中2年 森親子、「本読んで、あなたも私も主人公」鬼怒中2年 古屋敦子、「読書して知らない世界へレポート」姿川中2年 本庄美香、「よい本は未知の世界の第一歩」旭中2年 有賀千恵、「人から人へ、紙に記した真実の心」陽北中2年 杉田智恵子、「読書とは、未来の自分の基礎がため」泉が丘中3年 高橋陽子、「読書して広げる知識の輪と心」宮の原中3年 小林弘子、「本を読んだら、高めよう頭の知識と心のゆとり」横川中3年 富山絵美子、「かよい合う、あなたの心と作者の心」泉が丘中3年 高野京子、「身につけよう、知識の第一歩」読書から、陽南中3年 神村智子、「一冊に心のぬくもり、広がる感動」宮の原中3年 藤野香緒里、「本読んで触れ合いつくるよい町に」星が丘中3年 宇賀神徹也、「読書とは豊かな心開くかき」陽南中3年 加藤多香子、「読むたびに、広がる知識と呼ぶ感動」宮の原中3年 片庭俊、「家庭内、読書タイムでふれ合い家族」鬼怒中3年 落合行子、「本読めば、視野が広がり、明日が変わる」鬼怒中 大嶋崇、「読書とは明るい明日をひらくかき」鬼怒中3年 山元勝弘、「読書とは、世界の知識を結ぶかき」鬼怒中3年 神原朋美、「身につけよう、学ぶ心と愛読書」鬼怒中3年 武藤晶子、「一冊で夢と創造君のもの」鬼怒中3年 小林明美

◇一般の部

最優秀「読書から、学ぶ目、育つ芽、未来の目」田野町 杉浦文雄、優秀「めぐりあう、良書があなたのあすをひらく」泉が丘四丁目 森昭子、「読んで語って、楽しいわが家」篠井町 大島国男、入選「遠い世代、広い世界を知る読書」東原町 国谷広、「親と子の、心をつなぐ読みかせ」滝谷町 佐藤孝子、「読みながら、本」をつくらう！ 作者と君との（読者との）協同作業」海道町 大橋真知子。以上です。

????? 絵本は、内容によつて四つに分類され、丸型のラベルの色によつてわかれるようになっていきます。紺色はノンフックスイクションで、科学、自動車、動植物の本。緑色は外国の言語で書かれたものと、その翻訳された本。赤色は日本人の創作になる物語。黄色は詩や童謡、ことばに関する本です。それぞれのラベルには文を書いた人の姓の一字がカタカナで書いてあり、50音順に棚に並べてあります。



合同読書会

阿刀田高氏

12月7日(日)小説家の阿刀田高氏を迎えて、宇都宮市読書会連合会と図書館との共催で合同読書会を開催しました。「小説について」

をテーマに、国立国会図書館勤務時代の体験をまじえて、主に小説を書く側からみた小説論を展開されました。

まず、近代小説の誕生から始まり、19世紀初頭ヨーロッパに誕生したと位置づけられました。そして、小説が誕生するためには、①

技術的②文化的な条件と、二つ必要であり、①は印刷術の発達と紙

の普及、②は一般の人々が小説を読む暇と教養を身につけてきた、いわゆる市民階級の台頭であった。

その状況がすべて整ったのが19世紀で、その頃から小説が文学のなかの一番広い部分を占めるようになり、現在に至っていると話されました。

また、小説には二つの機能があるということ、一つは小説を通して

読み聞かせ講座

松居友氏

講師の松居友氏は児童書の編集者。父親が同じ児童書の編集者という家庭で、両親に絵本を読んでもらいながら育った体験と、編集者としての経験をもとに、読み聞かせを交えながらの講演でした。

心に残る絵本には2種類あります。まず、過去のなつかしい思い出として心に残る絵本です。これは、子どもがわかりやすい身近なところで語られている絵本です。

しかし、これだけが絵本ではなく、時間を超え、年令を超えて、

意味を持ち続ける絵本があります。

これは子どもにはわからないのではないかと、という大人の気持ちが、絵本の世界を狭くして来た気がしてならないのです。

絵本の体験は、子どもの頃だけのものではなく、その後の人生にも大きな役割を持つのです。

そして、大人が心から語りかけたいものが絵本の中にこもっている時には、子どもにもそのまま心の中に伝わっていくのです。子どもは感じることができるので、

て人間・人生を理解しようとする真摯な要素、もう一つは読んでおもしろいということです。それでは、小説は人間や人生とどう関わ



っていくのかというと、文学の本質は元来世の中全体が幸福になることを基本にしているが、個としての人間もいる。そういう社会の全体の動きに適應できない人に丁

絵本の本当の姿は、読んで初めて初めてわかります。大人も絵本を読んでもらい、その時の感動



の心を伝えるのです。大人と子どもがひとつの感動を分かち合う。これが絵本の世界です。その子に向かい、心をこめて語ることです。子どもの頃に本当に心をこめて語られたことは、何歳になっても、なつかしくよみがえり、声が

寧に目を向け、全体に対して彼の立場を主張する。それが小説と人生の携わり方の一番特徴的なことであるとされました。

最後に、氏が短編小説を書くことになった動機について触れました。氏が肺結核で入院中多くの海外の短編を読んで感じたことが、日本には私小説の伝統があり作家その人であるような主人公が登場するが、外国のものには作り物としての人生のスケッチがある。これを日本の風土のなかで書けば自分なりの小説を書けるという確信を持った、と結ばれました。

聞こえてくるのです。

ことばは意味だけではなく、そこには、心とか愛とか、こもっているものがあるのです。大人よりも、むしろ赤ちゃんの方が、そのこもったものがわかるような気がします。それが心を豊かにし、成長させていく力になるのではないのでしょうか。

絵本には三つの大切なことがあります。自然であり、生活であり、昔話です。生活は人と人との心の出会いです。昔話は心の自然です。



閲覧室利用上の注意

- 日曜日や夏休み、それに試験の前などは閲覧室がたいへん混み合います。図書館では混雑が予想されるときは、一人でも多くの方に利用していただくために、座席の指定をしています。係員の指示にご協力ください。なお利用にあたっては、次のことに注意して、お互いに気持良く利用しましょう。
- 一、静かに閲覧してください。
 - 二、私語は慎んでください。
 - 三、机を独占しないでください。
 - 四、長時間不在の場合は持物をかたづけさせていただきます。
 - 五、昼食は正午から午後一時までの間におとりください。

目次

目次は、皆さんの意見を聞き、運営に役立てるためのものです。これまで図書、レコードの希望、管理、運営のご意見をいただきました。その都度検討し対応してまいりました。図書、レコードの希望は、リクエスト制度を利用するのが確実ですが、題名だけでも参考になります。

第2回 ずいひつ講座

日時 3月15日(日)

午後1時30分～3時30分

講師 竹西寛子氏

(文芸評論家・小説家)

場所 市立図書館3階集会室

テーマ 「わたしとずいひつ」

定員 120名

受付 3月6日(金)から、電話か直

接、市立図書館へ

読書普及講座

日時 3月8日(日)

午後1時30分～

3時30分

講師 渡辺茂男氏

(児童文学者)

場所 市立図書館3階

集会室

テーマ 「絵本のなかの子どもたち」

定員 120名

受付 2月27日(金)から、電話か直

接、市立図書館へ

落語会

第27回落語会を開催します。

生の落語会の模様を「声の図書」

として作成し、目の不自由な方々

に、「聞く読書」を楽しんでいた

だいております。

寄席の雰囲気を出すためには、

あなたの笑い声が一番です。ご来
場をお待ちしております。

日時 3月14日(土) 午後3～5時

場所 市立図書館3階集会室

春休み親子映画会

題名 ①かわいそうなぞう 17分

②わんぱくナージャの竜王

退治 65分

日時 3月22日(日)

第1回 午前10時30分

第2回 午後1時30分

会場 市立図書館3階集会室

定員 各回とも150名(入場は

無料ですが、整理券が必要)

整理券は3月14日(土)から視

聴覚ライブラリーで配布しま

す。1人3枚まで。定員にな

りしだい切りです。詳し

くは視聴覚ライブラリーへ。

常設展示

三階調査相談室からレコード室

への通路に、古文書の展示コーナ

ーがあります。ここに展示してあ

る古文書は、亀井川氏から寄贈さ

れたもので、江戸時代の郷土の歴

史や庶民の生活を知る上で、たい

へん貴重な資料です。図書館の所

蔵する古文書をこれからも順次展

示していきますので、どうぞご覧

ください。

貸出状況

区分	61年12月	61年度累計 61/4～61/12
登録者数	530人	107,332人
貸出人数		
館内	15,311人	160,190人
視聴覚	1,892	17,413
館外	2,138	26,300
計	19,341	203,903
貸出冊数		
館内	52,383冊	529,892冊
視聴覚	4,380	40,463
館外	9,216	112,314
計	65,979	682,669

(注) 登録者累計数は、開館からの累計数

12月の	館内 1日あたり	館外 1ステーションあたり
貸出人数	696人	33人
貸出冊数	2,381冊	144冊

利用案内

○開館時間

午前9時30分～午後7時

ただし、児童図書室は

午前9時30分～午後5時

○休館日

毎週月曜日

国民の祝日

図書整理日(毎月初日または翌日)

○貸出は

図書・紙芝居 5冊

レコード・CD(コンパクト) 5枚

(ただし、CDは2枚)

ビデオ・フィルム 5点

あわせて15点まで

○講座の問い合わせ・申込み

電話または直接図書館へ

電話 (30) 0231

2月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
①	②	3	4	5	6	7
8	⑨	10	⑪	12	13	14
15	⑬	17	18	19	20	21
22	⑮	24	25	26	27	28

3月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
①	②	3	4	5	6	7
8	⑨	10	11	12	13	14
15	⑬	17	18	19	20	⑮
22	⑮	24	25	26	27	28
29	⑳	31				

声の図書

ボランティア製作
あたらしい本

▽どんぐりと山ねこ・
ブルーガイド、ヨーロ
ッパより(藤田東子)
▽ポケットガイド、ヨ
ーロッパ(渡辺美晴)
▽三毛猫ホームズの幽
霊クラブ(須藤秀代)
▽消えた乗組員(横山
嘉子)▽海嶺(小川暢子)▽資
源と人間(木立とみ)▽気がつけ
ば騎手の女房(田中義子)▽女の
部屋(青木桂子)▽新官僚の時代
(木村あい)

点訳図書

▽川柳でんでん太鼓(関光子)▽
スチュアデスの活躍(小島義則)
▽化身(下)(増山初美)

寄贈

石崎英雄「幻の城を求めて」。
吉沢久子「わたしの青春旅日記」。
栃木県女流詩人協会「栃木県女流
詩人選集一九八六年版」。日本建
築学会栃木支部「栃木の建築文化
カトリック松が峰教会」。河住玄
「本校新和歌集上・下」。岩崎良
能「偉人蒲生君平の生涯」。小林
茂「ワニのおくりもの他」。中野
英子「0才からのしつけ他」。佐
々木榮子「歌集かたかこ」。添田
包子「万景台他」。他多数。